

リソースが読み込まれない

問題

リソースが読み込まれない理由は？

ソリューション

新しいタブでURLに移動する際、リソースを正しく読み込んで表示する必要があります。 そうでない場合、そのフォーマットはリソースとして利用できません。

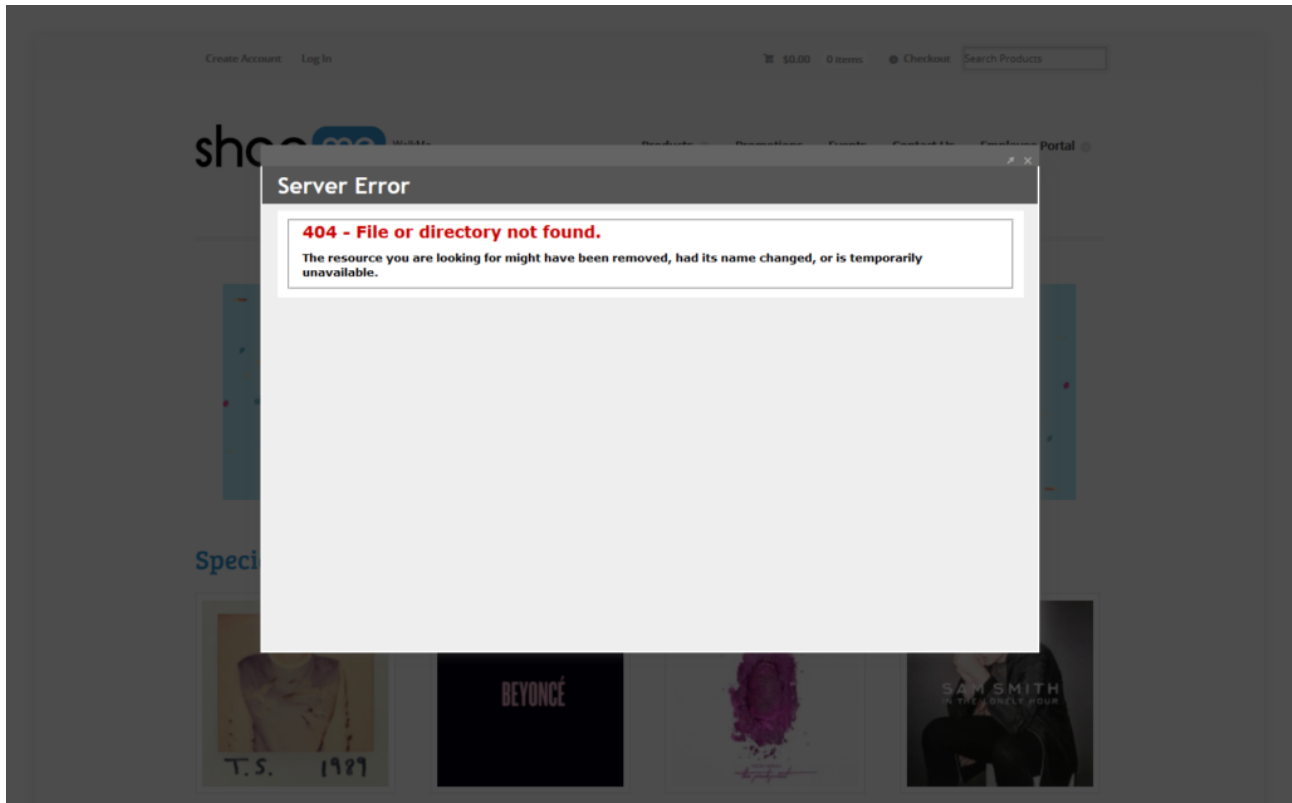
リソースがLightboxでは読み込まれないが、新しいタブでリンクを開くと正常に読み込まれる場合、問題の原因はおそらくウェブサイトのX-Frame-Optionsにあります。 これはつまりLightboxで読み込もうとしているウェブサイトの読み込みが、表示しようとしているページ上のiFrameで妨害されているということです(LightboxはiFrameだからです)。 この設定を管理できるのはサイト管理者のみです。 [X-Frame-Optionsの詳細については、こちらを参照してください。](#)

この一般的な例としてはDropboxのリンクZendeskの記事、一部のPDF動画などがあります。 ここで重要なのは、 大部分のサイトがX-Frame-Optionsのヘッダーを利用している、ということです。

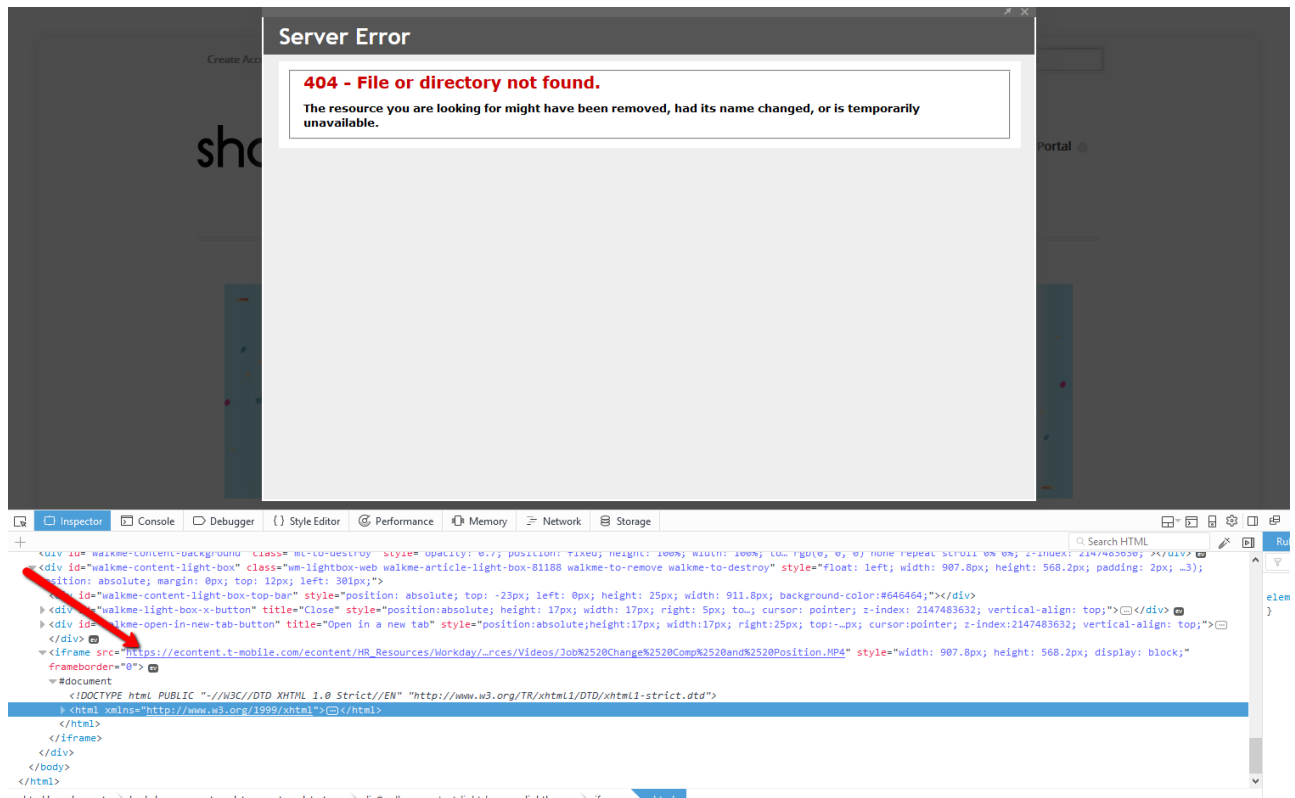
読み込もうとしてるリソースがファイルタイプで (.pdfまたは.mp4など)Lightboxで読み込まれない場合は、 [サポート](#) にご連絡ください。 これらのファイルをサーバーにアップロードし、Lightboxでレンダリングできる可能性があるリンクをお送りします (これは、通常のウェブページでは不可能です)。

Google DocsまたはGoogle Driveからのリンクまたはファイルを利用しようとしている場合、 [詳細についてはこちらを参照](#)してください。

Lightboxでリソースを開こうとする際にサーバーエラーは表示されますか？ この場合、リソースのURLに特殊な文字があるかどうかを確認します。



- リソースのURLに「%」という文字がある場合、それがサーバーエラー発生の理由である可能性があります。通常、ホストされたファイルにスペースがある場合、URLでは言葉と言葉の間にあるスペースを埋めるために「%20」が使われます。例えば、リソース用のホストされた動画のURLが次のようなものだったとします。
<https://contenttmobile.com/content/HR-Resources/Walkday/Manager-Resources/Videos/job/%20Change%20Comp%20and%20Position.MP4>
- このURLをリソースでそのままコピー＆ペーストして開こうとすると、URLがDOM内で変更されることがわかります。



- 上のスクリーンショットから分かるようにiFrameで読み込まれるURLは次のようになります。
https://econtent.t-mobile.com/econtent/HR_Resources/Workday/Manager_Resources/Videos/Job%2520Change%2520Comp%2520and%2520Position.MP4
- 元のURLにある「20」の前に、「25」が挿入されていることが分かります。こうすることになるのはURLのインターネット上での送信にはASCIIフォーマットを利用しなければならないためです。上記の例では、もともと「20」の前にあった文字「%」が、このフォーマットに一致するように「%25」に変換されてしまいました。この問題を解決するには、リソースのURLを編集し、「%20」を削除して言葉と言葉の間にスペース文字を入れま
https://econtent.t-mobile.com/econtent/HR_Resources/Workday/Manager_Resources/Videos/Job Change Comp and Position.MP4
- こうすればiFrameが自動的に「%20」を挿入して有効なURLに変えるため、サーバーエラーメッセージも発生せず、問題は解決します。